

台湾との冬季プログラムチャーター便の運航決定について

本県と台湾との国際定期便就航に向けて、中華航空から通年での航空需要の創出、特に冬季と夏季の需要が課題とされてきましたが、官民一体となって冬季の需要の掘り起こしを行った結果、来年1月15日（水）から2月8日（土）まで計7往復12便の冬季プログラムチャーター便の運航が決定しましたので、お知らせします。

1. 運航決定に至る経緯

4月に知事を団長とするミッション団が台湾を訪問して、中華航空に台湾との国際定期便就航を正式に要請したところではありますが、これまで**中華航空からは通年での航空需要の創出、特に夏季と冬季の需要が課題**とされていたことから、県と県内のスキー場、宿泊施設などが連携して、台湾で増加傾向にあるスキー人口を狙い、台湾で日本へのスキー旅行商品造成の実績がある旅行会社へ働きかけを行った結果、**いわて花巻空港への冬季プログラムチャーター便の就航が決定しました。**

これは、震災のあった**平成23年以来、3年ぶりの運航**が実現したものですが、今後の台湾との国際定期便就航に向けて弾みがつくものとなります。

2. 運航計画の概要

インバウンド 12便

運航日	運航機材	運航会社
1月 15日、19日、23日、27日、31日	B737-800	中華航空（台湾）
2月 4日、8日	(158席)	

※ なお、当該数字については、あくまでも運航計画（予定）であり、実際の運航に際しては変更となる場合があります。

3. 今回の冬季チャーター便の概要と担当する台湾の旅行会社

期間中、同チャーター便により台湾人スキー客など約900名が本県などを訪れ、安比高原スキー場、雫石スキー場などでスキーを楽しまれる予定です。

なお、担当する台湾の旅行会社は、台湾から日本をはじめ、海外へのスキーなどの旅行商品造成の実績がある高豊（ゴーフン）旅行社（代表 鄭文豊：ていぶんほう）です。

【告知】 9月28日、29日に、イオンモール盛岡南店センターコートにおいて、台湾観光PRイベント～思い立ったが台湾吉日～を開催します！

台湾のお茶講座や二胡の演奏のほか、台湾ペア旅行が当たるアンケート抽選も行います。

(参考)

1. いわて花巻空港発着予定の国際チャーター便

今後、いわて花巻空港を発着する国際チャーター便は以下のとおり予定されています。

運航日	出発・目的地	運航航空会社	摘要
10月19日、23日、27日、31日 11月4日	台湾	中華航空	台湾人（インバウンド）のみ
11月2日、5日	台湾	中華航空	日本人と台湾人の双方向
12月16日、20日	台湾	中華航空	日本人と台湾人の双方向

2. 最近の台湾からのチャーター便運航実績

		全体	春季	夏季	秋季	冬季	摘要
平成20年度	全体	76便	21便		49便	6便	
	インバウンド	70便	21便		43便	6便	
	アウトバウンド	6便	—		6便	—	
平成21年度	全体	65便	22便		41便	2便	
	インバウンド	57便	20便		37便	—	
	アウトバウンド	8便	2便		4便	2便	
平成22年度	全体	40便	12便		16便	12便	
	インバウンド	38便	12便		14便	12便	
	アウトバウンド	2便	—		2便	—	
平成23年度	全体	14便	—		8便	6便	
	インバウンド	8便	中止		4便	4便	
	アウトバウンド	6便	—		4便	2便	
平成24年度	全体	36便	12便		16便	8便	
	インバウンド	26便	10便		12便	4便	
	アウトバウンド	10便	2便		4便	4便	
平成25年度	全体	(56便)	20便	4便	(16便)	(16便)	()は現時点での計画
	インバウンド	(48便)	20便	2便	(12便)	(14便)	
	アウトバウンド	(8便)	—	2便	(4便)	(2便)	

※ 便宜上、春季（4～6月）、夏季（7～9月）、秋季（10～12月）、冬季（1～3月）として集計したもの。

※ 平成23年度の春季チャーターは、14便が計画されたが、震災等の影響によりキャンセルされた。

※ 平成25年度秋季以降は、現時点で計画されている数字である。

（秋季：10、11月インバウンドプログラム（8便）+11月双方向（4便）+12月双方向（4便）の16便）

（冬季：1、2月インバウンドプログラム（12便）、2月双方向（4便）の16便）